

機械学会動力・エネルギーシステム部門講習会の実施報告

委員 梅沢修一

2013年10月18日(金)に「コジェネレーションとヒートポンプを用いた省エネ最前線・最新鋭の省エネ・キャンパスの見学」と題し、講習会を実施した。参加申し込みは19名で、委員3名、事務局2名で引率を行った。

午前中は三菱重工業株式会社 品川本社において、講演会を実施。三菱重工業株式会社・冷熱事業本部・冷熱システム事業部 澁谷 誠司様から「ヒートポンプとその適用技術」について、また、独立行政法人 産業技術総合研究所 熱・流体システムグループリーダー 平野 聡様から「コジェネレーション給湯暖房への潜熱蓄熱の応用」について講演頂いた。司会は西委員が担当した。いずれの講演も省エネに関する興味深い知見が示されており、講演後の質問も活発であった。

昼食後、各自電車にて移動し、午後は、東京電機大学千住キャンパスにおいて、最新の省エネ・キャンパスの見学を行った。説明は、東京電機大学の百田先生にお引き受け頂いた。キャンパス・ビルは内部に同じ高さを持つ縦型蓄熱槽を有しており、効率的に冷房を行っていること、また、教室は、出席した学生が座っている部分に合わせて、照明・空調の調整を行っている（写真：天井のスポット冷房用吹き出し口、中央に百田先生）等の説明があり、省エネ効果も高いということであった。参加者も深く感心していた。東京電機大学では来年度の年次大会も予定されており、その期待も高まる。

最後に、改めて、ご対応頂いた、三菱重工業株式会社・澁谷様、産業技術総合研究所・平野様、東京電機大学・百田先生にお礼を申し上げたい。

